



<定点把握感染症>

疾患名	全国	山形県				山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積(県)
	第36週	第36週	第37週	増減	第36週	第37週	増減	第36週	第37週	増減	第36週	第37週	増減	第36週	第37週	増減	第36週	第37週	増減	第1~37週	
インフルエンザ定点(定点医療機関数)		(44)				(9)			(10)			(4)			(9)			(12)			
インフルエンザ	133 0.03																				5
小児科定点(定点医療機関数)		(29)				(6)			(7)			(3)			(6)			(7)			
RSウイルス感染症	4978 1.60	49 1.75	43 1.48	▽	2 0.33	6 1.00	△	10 1.43	6 0.86	▽	8 2.67	9 3.00	▲	22 4.40	19 3.17	▽	7 1.00	3 0.43	▼	255	
咽頭結膜熱	186 0.06	2 0.07		▽				1 0.14		▽							1 0.14		▽	380	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	894 0.29	2 0.07	3 0.10	△				1 0.14	2 0.29	△				1 0.20	1 0.17	▽				402	
感染性胃腸炎	6704 2.15	37 1.32	32 1.10	▼	7 1.17	5 0.83	▼	13 1.86	9 1.29	▽	2 0.67		▽	11 2.20	17 2.83	△	4 0.57	1 0.14	▽	5744	
水痘	156 0.05	1 0.04	3 0.10	△	1 0.17	2 0.33	▲											1 0.14	△	86	
手足口病	11774 3.77	500 ◎17.86	396 ◎13.66	▽	131 ◎21.83	112 ◎18.67	▽	100 ◎14.29	96 ◎13.71	▼	42 ◎14.00	46 ◎15.33	▲	175 ◎35.00	108 ◎18.00	▽	52 ◎7.43	34 ◎4.86	▼	2183	
伝染性紅斑	58 0.02																			7	
突発性発しん	847 0.27	8 0.29	7 0.24	▼	1 0.17	2 0.33	▲						1 0.33	△	4 0.80	2 0.33	▼	3 0.43	2 0.29	▽	418
ヘルパンギーナ	2749 0.88	229 ◎8.18	196 ◎6.76	▼	49 ◎8.17	49 ◎8.17		15 2.14	11 1.57	▼	12 4.00	5 1.67	▽	87 ◎17.40	78 ◎13.00	▽	66 ◎9.43	53 ◎7.57	▼	1115	
流行性耳下腺炎	111 0.04		1 0.03	△														1 0.14	△	23	
眼科定点(定点医療機関数)		(8)				(1)			(3)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	6 0.01																			0	
流行性角結膜炎	130 0.19		1 0.13	△									1 1.00	△						62	
基幹定点(定点医療機関数)		(10)				(2)			(2)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1 0.00		1 0.10	△		1 0.50	△													2	
クラミジア肺炎	1 0.00																			0	
マイコプラズマ肺炎	5 0.01																			2	
細菌性髄膜炎	7 0.01																			1	
無菌性髄膜炎	5 0.01																			0	

◎ : 警報レベル ○ : 注意報レベル

<全数把握感染症>

疾患名	報告数					備考
	山形市	村山	最上	置賜	庄内	
結核	1					
腸管出血性大腸菌感染症				2		型別:O26 VT1 (2)
E型肝炎				1		
レジオネラ症	1				1	
カルバペネム耐性腸内細菌感染症					1	※第35週追加報告分90日以内の海外渡航歴:無し
梅毒		2				※第36週追加報告(1)、第30週追加報告(1)

<通信欄>

※新型コロナウイルス感染症
陽性者健康フォローアップセンター運用中です。
 新型コロナウイルス感染症の発生届の対象外となる方が、安心して自宅療養できるよう、「陽性者健康フォローアップセンター」を設置しています。

陽性登録部門

自己検査等で陽性になった方

登録方法に関するお問合わせ
 ☎050-5444-2359 (9:00~17:00)

医療機関で陽性と診断された方

健康相談部門 ※陽性登録をしていない方も相談可能です

☎050-5530-2138(24時間受付)

- 自宅療養中の体調不安や症状悪化時の相談
- 自宅療養に関する問合わせ(療養機関、食料支援、宿泊療養ほか)
- 医療機関で陽性診断の方(発生届対象外)の登録相談

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。
 ※ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPをご覧ください。

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数
 ※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

< 定点把握感染症 報告患者数 年齢別 >

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	合計
インフルエンザ	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									0
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	3	4	8	11	6	8	2			1					43
咽頭結膜熱															0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎				1			1			1					3
感染性胃腸炎		3	7	3	3	1	5	1	5		1	2		1	32
水痘										1	1	1			3
手足口病	2	32	133	114	75	18	9	6	1	1	1	3		1	396
伝染性紅斑															0
突発性発しん		2	5												7
ヘルパンギーナ		10	40	61	45	12	12	6	3	1	3	1		2	196
流行性耳下腺炎										1					1

< 令和4年7月月報 >

2022年8月24日 発行

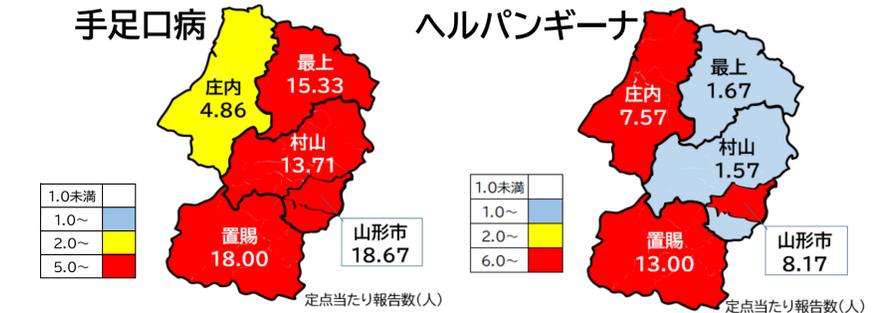
疾患名	山形県		山形市		村山		最上		置賜		庄内		山形市	累積(県)
	6月	7月												
STD定点 (定点医療機関数)	(10)		(3)		(1)		(1)		(2)		(3)			
性器クラミジア感染症	報告数	15	18	4	5		1	4	3	3	4	4	5	101
	定点当り	1.50	1.80	1.33	1.67		1.00	4.00	3.00	1.50	2.00	1.33	1.67	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	12	7	6				2	1	2	5	2	1	34
	定点当り	1.20	0.70	2.00				2.00	1.00	1.00	2.50	0.67	0.33	
尖圭コンジローマ	報告数	3				1				1		1		12
	定点当り	0.30				1.00				0.50		0.33		
淋菌感染症	報告数	2	5		1						2	2	2	17
	定点当り	0.20	0.50		0.33						1.00	0.67	0.67	
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)		(2)		(2)		(1)		(2)		(3)			
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	3	3					1	1			2	2	22
	定点当り	0.30	0.30					1.00	0.50			0.67	0.67	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	9	7			2	1	3				4	6	83
	定点当り	0.90	0.70			1.00	0.50	3.00				1.33	2.00	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数													0
	定点当り													

< トピックス >

手足口病・ヘルパンギーナの流行が継続中！

手足口病とヘルパンギーナの県平均定点当たり報告数は、前週より減少しましたが、依然として警報レベルとなっています。

< 県内流行MAP >



< ウイルス分離・検出情報 >

山形県衛生研究所の検査において、県内の手足口病患者4名、ヘルパンギーナ患者3名より、コクサッキーウイルスA6が分離・検出されています(2022年9月14日現在)。

手足口病

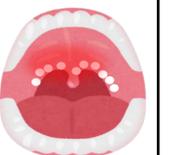
手足口病は、ウイルスに感染することによって口の中や手足に水疱性の発疹がでる感染症です。発熱はあってもあまり高くないことがほとんどです。



感染経路は、咳やくしゃみの中に含まれるウイルスによる飛沫感染、水疱や便に含まれるウイルスが手などを介して、口や目などの粘膜から入ることによる接触感染です。治った後も長い期間ウイルスが排出されるので、手洗いの徹底が重要です。手洗いは流水と石けんで十分に行い、タオルの共用は避けましょう。

ヘルパンギーナ

ヘルパンギーナは、ウイルスに感染することによって発熱(高熱)、咽頭痛、口腔内の水疱や発赤などがあらわれる感染症です。



口腔内の水疱や痛みのため、食事や水分が取りづらくなるため、脱水にならないように注意が必要です。感染経路は、咳やくしゃみの中に含まれるウイルスによる飛沫感染、水疱や便に含まれるウイルスが手などを介して、口や目などの粘膜から入ることによる接触感染です。治った後も長い期間排出されるので、手洗いの徹底が重要です。手洗いは流水と石けんで十分に行い、タオルの共用は避けましょう。